

“21「印南かえる橋」”



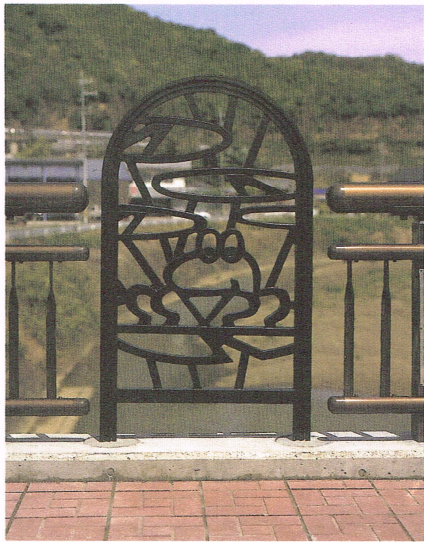
 印南町



印南町は、紀伊半島の西岸線のほぼ中央に位置し、山と海に囲まれた自然環境に恵まれた町であり、年間を通じて温暖な気候条件により、野菜や花卉の栽培が盛んである。町の歴史も古く、数々の伝説や言い伝えを残す歴史遺産が町内に数多く点在している。又、海岸線は変化に富み、磯つり等、観光面でも魅力を秘めた町である。

しかし、「いなみ町」の知名度は低く、大都市圏からの来訪者や定着人口の伸び悩み、若者人口の流出等、難しい課題を抱えている。

今回、21印南かえる橋を建築し、町のシンボルとした。さらに、すぐ傍に計画されている近畿自動車道松原さしみ線（仮称）印南インターチェンジが町への玄関口となり、より多くの人々を招き入れ、町発展へ大きく飛躍するものである。



かえる橋建設までの経過と現状

国は、昭和63年度から平成元年度にかけて自治省を中心に「ふるさと創生」の起爆剤として「自ら考え自らの地域づくり」事業（いわゆる1億円事業）を推進してきた。一方、印南町においては、1億円事業として努力、忍耐そして飛躍を象徴する「柳にとびつくかえる」（小野道風）から、「考える」「人をかえる」「町をかえる」「古里へかえる」「栄える」という5つの“かえる”をひっかけたネーミングで人材育成のための「かえる基金」を創設した。

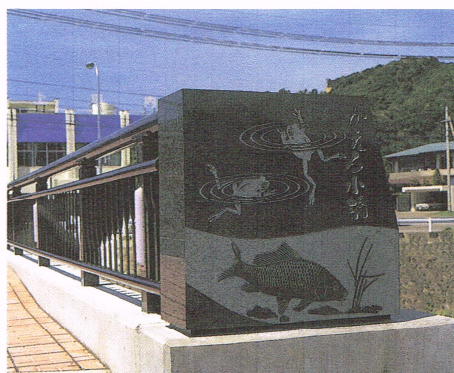
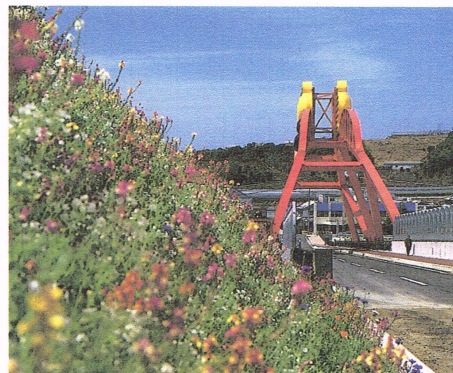
さらに、平成2年度には「地域づくり推進事業」を財源に：全国に類をみないかえるをテーマとした極めてユニークな橋：を計画し、建設した。この「21印南かえる橋」は、印南町内を東西に走っている広域農道と町の中心地を接続し、さらに近畿自動車道松原さすみ線（仮称）印南インターチェンジの、いなみ町への玄関口である。

「ふるさと創生事業」の流れ

「ふるさと創生の起爆剤」	
「自ら考え自らの地域づくり」 （いわゆる1億円事業）	自治省
かえる基金（人材育成）	印南町



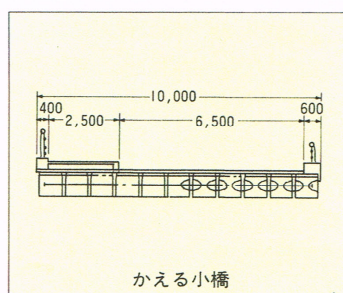
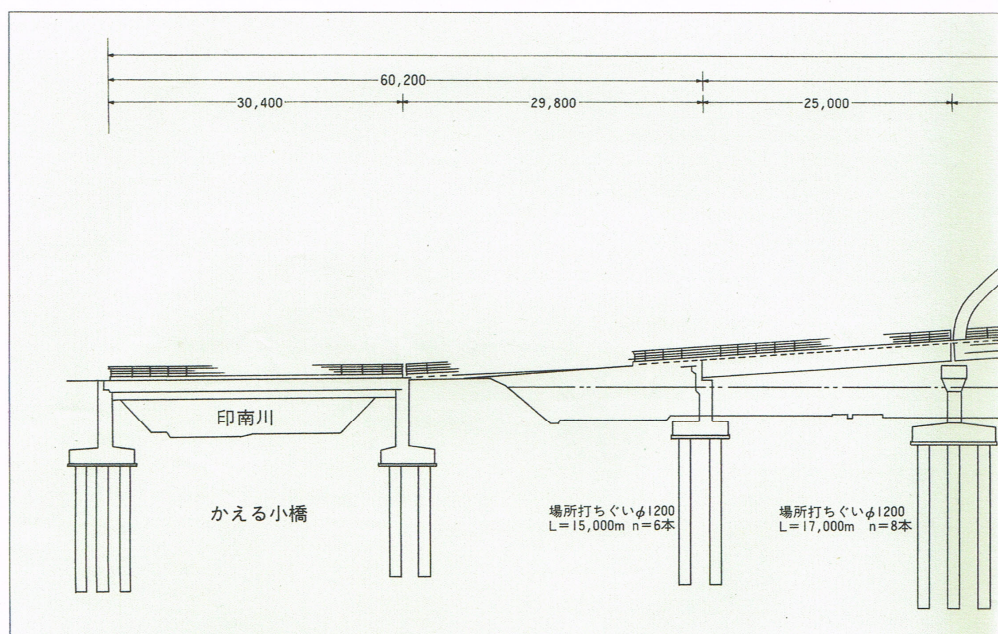
「ふるさと創生関連施設」	
「地域づくり推進事業」	
「ふるさとづくり特別対策事業」	
「ふるさと財団関連融資」	自治省
「ふるさと市町村圏基金」	
“21「印南かえる橋」”	印南町

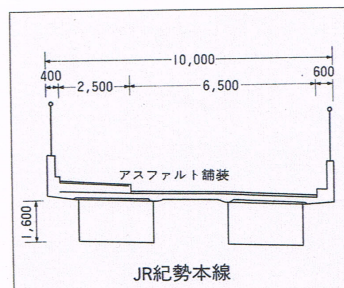
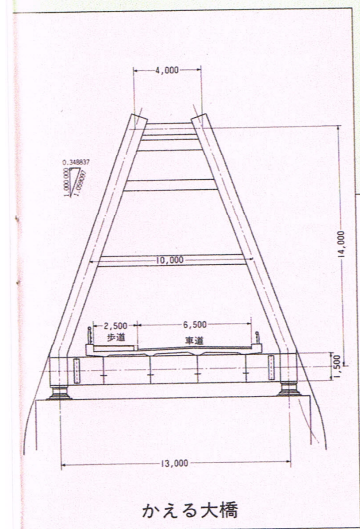
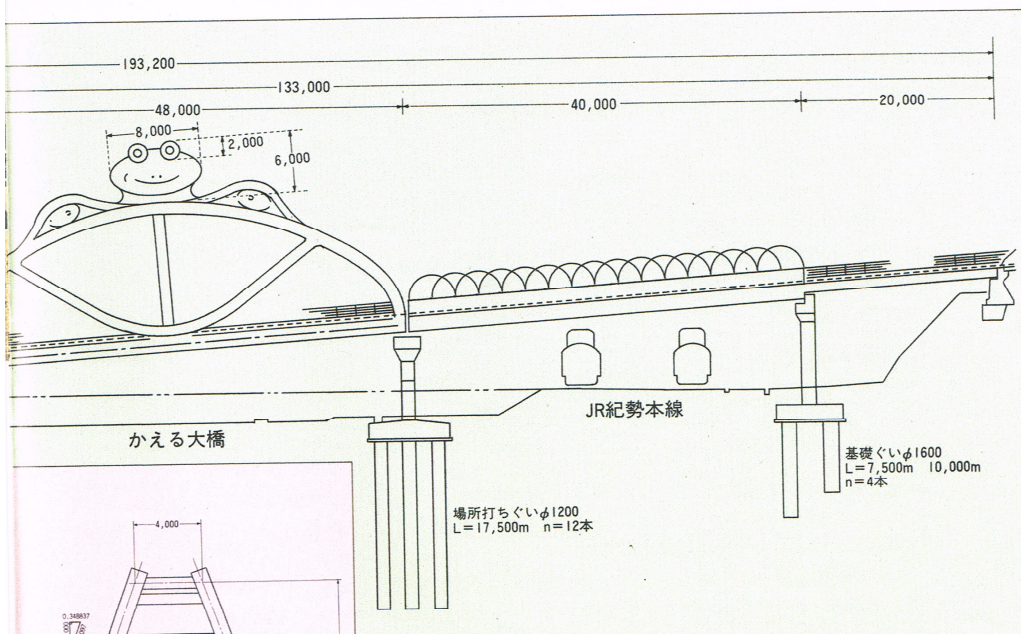




事業の概要

年 度	事 業 内 容	金 額	業 者 名
平成 2 年度	橋梁測量設計費 測量費等	29,500 ^円	中央復建コンサルティング株式会社
平成 3 年度	大橋下部工事費等	174,000	飛島建設株式会社
平成 4 年度	小橋設計費等	2,532	前本技術コンサルタンツ
"	大橋上部鋼ローゼ桁工事費等	507,468	株式会社栗本鐵工所
平成 5 年度	大橋上部工事費等	23,100	住友建設株式会社
平成 6 年度	小橋PC橋新設工事費等	198,400	"
	総 事 業 費	935,000	







印 南 町 役 場

〒649-15
和歌山県日高郡印南町大字印南2252番地の1
電話 (0738) 40120 FAX (0738) 40662